

## 第3回 日本心血管インターベンション治療学会賞 結果について

CVIT 編集委員会

### 【選考経過】

「日本心血管インターベンション治療学会賞」は、優れた研究論文および症例報告を顕彰し、より多くの優秀論文の投稿を期待することを目的として、2010年に発足した。

第3回学会賞は、2012年1月から2012年12月までに発行された和文誌(Vol.4.No.1～Vol.4.No.3)および英文誌(Vol.27.No.1～Vol.27.No.3)に掲載された研究論文 **14編**、Case Report**29編**、コメディカル論文**4編**を対象とした。

今年度より学会賞選考方法が次のとおり改正された。

### 論文賞種別：

<2013年2月改定>

CVIT論文賞を部門分けし、それぞれのトップを優秀賞とする

- 1) 最多引用論文賞
- 2) 最多有料ダウンロード賞
- 3) 最多得票賞

3部門の優秀賞の中から、最優秀賞を最終選考で決定する。

### 選考方法：

<第一次選考>

- 1) 最多引用論文賞および最多有料ダウンロード賞は出版社にてデータ抽出後、編集部および編集委員会コアメンバーにて最終検証。
- 2) 最多得票賞が従来の論文賞に相当する。編集委員に一人一票ずつ最優秀と思うものを記名投票してもらう。

<最終選考>

第1次選考にて選出された各グループの1位が最終選考にかけられる。

最終選考については①論文の独創性、②論文の構成、③ほかの研究者への啓発、④今後の発展性、⑤社会への貢献度について審査。

選考の結果は、以下の通り。

編集委員 最多得票賞 1 編

木村 剛 先生 (京都大学医学部)

[Antiplatelet therapy and long-term clinical outcome after sirolimus-elutingstent implantation: 5-year outcome of the j-Cypher registry \(Cardiovasc Interv and Ther , 2012 , 27 : 181-188\)](#)

<編集委員からの推薦コメント>

- DES 植込み後の、抗血小板薬の長期投与に関する日本人に対する治療方針に関する貴重な論文であり、本論文の意義は高いと考える。
- 抗血小板剤2剤投与をしかるべき段階で中止することを支持する重要な研究報告である。  
などの意見が寄せられた。

最多ダウンロード賞 1 編

小谷 順一 先生 (国立循環器病研究センター)

[Five-year outcomes of Cypher™ coronary stent: report from J-PMS Study \(Cardiovasc Interv and Ther , 27:63-71\)](#)

受賞理由：1年間で70回の有料ダウンロードがあったため。

最多引用賞 3 編

3 編が同率引用数となった。

元山 貞子 先生 (藤田保健衛生大学)

[Coronary CT angiography and high-risk plaque morphology \(Cardiovasc Interv and Ther , 2013 , 28:1-8\)](#)

夏秋 政浩 先生 (京都大学医学部)

[Comparison of 3-year clinical outcomes after transradial versus transfemoral percutaneous coronary intervention \(Cardiovasc Interv and Ther , 2012, 27:84-92\)](#)

田中 哲也 先生 (社会保険神戸中央病院)

[An assessment of risk factors for the complexity of coronary artery disease using the SYNTAX score.](#)

[\(Cardiovasc Interv and Ther, 2013, 28: 16-21\)](#)

**最優秀論文賞 1 編**

木村 剛 先生 (京都大学医学部)

[Antiplatelet therapy and long-term clinical outcome after sirolimus-elutingstent implantation: 5-year outcome of the j-Cypher registry](#)

[\(Cardiovasc Interv and Ther, 2012, 27: 181-188\)](#)

受賞理由: 編集委員最多得票賞であると同時に、ダウンロード数でも年間 64 回で第 2 位となったため。

CVIT 誌は 2012 年 4 月より PubMed への収載が開始されています。

次の目標は Impact Factor の取得となり、この目標を実現するためには CVIT 誌の他誌での引用数が重要になってきます。

編集委員会では出版元である Springer 社と共に MedLine に登録されている主要雑誌における CVIT 誌年間引用状況を抽出し、カウントをしています。

他誌へ CVIT 誌を引用頂いた会員へ感謝の意をこめて編集長特別賞として感謝状を贈呈します。

**編集長特別賞 ※五十音順**

石川 哲也	先生	(埼玉県立循環器・呼吸器病センター)
塩見 紘樹	先生	(京都大学医学部)
滝村 英幸	先生	(済生会横浜市東部病院)
多田 朋弥	先生	(京都大学医学部)
徳重 明央	先生	(鹿児島大学医学部)
夏秋 政浩	先生	(京都大学医学部)
山地 杏平	先生	(小倉記念病院)
渡邊 真	先生	(京都大学医学部)

CVIT2013 期間中、7 月 12 日(金)に行われた会員総会にて学会賞授与式をおこない、賞状および賞金を授与いたしました。

第 4 回学会賞選考対象論文は 2013 年 1 月から 2013 年 12 月までに発行された学会誌へ掲載された論文全てとなります。会員諸氏からの積極的な投稿をお待ちいたしております。

以上